

たまき社協だより

2009.11
No.32

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596(58)6915/FAX 0596(58)6916
ホームページ <http://www2.mie-net.ne.jp/tamasya/>
E-MAIL tamasya@amigo2.ne.jp

みんなの笑顔が集まったお楽しみ昼食会



10月4日(日)、保健福祉会館において今年度の「お楽しみ昼食会」が開かれました。

いつも給食サービスを利用されている方、お弁当を作り配達されているボランティアの方、おたよりにかかわる保育所の先生、そして特別に外城田小学校6年生の児童7人が一緒に集まり、食事は、秋満載のメニュー・レクリエーションでは、利用されている方ののびやかな歌声のご披露などを楽しみました。

※この広報は、共同募金配分金事業によって発行しております。

「元気バス」が11月4日より運行スタート

完全予約制の「元気バス」が第1回目の実証実験として11月4日(水)～平成22年1月29日(金)まで運行します。

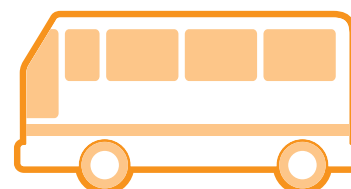
ご利用を希望される方は、事前の登録が必要となります。登録用紙は、社会福祉協議会もしくは役場に備え付けられております。今回の利用対象者は、以下の方になります。

＝対象者＝

- ・玉城町民65歳以上の方。
- ・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方

＝記入注意事項＝

- ◎利用者番号(5桁の数字)は必ず本人がご記入ください。
- 予約時のお名前の代わりになります。
- 記入お忘れなく。



元気バス登録用紙

No.	
住所	玉城町
ふりがな	
氏名	
生年月日	明治 昭和 年 月 日 大正 平成
年齢	歳 性別 男 女
電話番号	0596 ()
利用者番号	
暗唱番号	

お持ちの方だけ ご記入ください。

携帯電話番号	
メールアドレス	
障がい者手帳	有 (お持ちの方は○をしてください)

玉城町身体障害者福祉会

～会員募集～

現在「玉城身体障害者福祉会」では会員を募集しています。

～活動内容～

- 県主催の大会
- 度会身体障害者福祉会主催の大会(年4回)
- 研修旅行(年1回) ○身障福祉大会

ペースメーカーをお使いの方へ

当事者の方々のネットワーク作りを行いたいと考えております。一緒に集まり情報交換をしませんか?玉城町身体障害者福祉会会員で当事者の方、又は、関心のある方、お電話ください。

連絡先：玉城町身体障害者福祉会事務局
TEL.58-6915

ご相談ください 社協相談窓口ご案内

心配ごと相談

毎月10日、20日、30日 PM1:00～3:00
玉城町保健福祉会館にて 予約不要
相談員：民生児童委員・人権擁護委員・行政相談員

子育て教育相談

随時、社協事務局にて受付しております。
相談員：池山哲也さん
日程は、受付後調整いたします。

ご寄付ありがとうございました。(7月～9月) 敬称略

匿名希望 (3名)	6,756円
奥田 豊	100,000円



元気ですたまき委員会 ふだんのくらしのしあわせ

地域福祉座談会開催報告

9月5日有田地区、12日外城田地区、13日下外城田地区、20日田丸地区の小学校区に分かれ4回保健福祉会館において、福祉座談会を開催いたしました。
テーマは「あいさつのできるまち」。
元気ですたまき委員会では、つながりは『あいさつ』からとしてコミュニケーションアップを図り、ふれあいのある町・暮らしやすいまちづくり運動の推進を行います。

4日間で延べ100人ちかい方々にご参加いただき、話の場を作って頂きました。
委員による寸劇を挟みながら、あいさつについて今出来ていること・出来ていないことさらにそこから実際に自分たちでできること・取り組めることをみなさんの日常生活を振り返るような形で行って頂きました。
各地域の意見とアンケートの結果をご報告いたします。

外城田地区 (H21.9.12 福祉座談会)

参加者：24名 登録者：20名 アンケート回答者：24名

出来ていること

- 1) 子供たちの登下校時・スポーツクラブでのあいさつ
- 2) 顔見知り間でのあいさつ
- 3) 家族間でのあいさつ(「おはよう」「おやすみ」「おかえり」)

出来ていないこと

- 1) 中学生・高校生のあいさつ
(年齢が高くなるにつれてできていない現状)
- 2) 同地域内の旧と新住民間のあいさつ
- 3) 同地域内の大人と子ども間のあいさつ
(子どもが外で遊ぶことが少ないためお互い顔を覚えられない)
- 4) 嫁しゅうと間のあいさつ(結構あるケース)
- 5) 若手層での同年輩同士のあいさつ

問1) 本日の座談会に出席してよかったと思いますか?
非常によかった：13名 よかった：14名

問2) 今後も福祉座談会や地域での取り組みがあれば参加されますか?
参加する：120名 内容によって参加する：3名
どちらともいえない：3名



出来ること

- 1) あいさつのしつけは、子供の時からが大切
- 2) 家庭内でのあいさつの励行(親から始めよう)
- 3) 職場内では目上から、団体内では先輩から始めよう
- 4) あいさつ時は目線を合わせる
- 5) あいさつは自分から、笑顔で、大きな声で、繰り返し行う
- 6) あいさつを受けたら必ず返事を
- 7) 小中学校であいさつ運動の取り組みを(あいさつすることの意味合いを学習させる)
- 8) 町で「あいさつ月間」をつくる
- 9) PTA、老人会、各種サロンなどの会合の機会にあいさつ運動を啓発する。
- 10) 防犯の基本はあいさつから。(見知らぬ人からの声かけを無視する指導との兼ね合いが難しい)

問3) 開催の日時及び開催の場所について
お伺いいたします?

平日：6名 土日：19名 午前：20名
午後：4名 午後7時以降：1名
保健福祉会館：19名
学校：4名 各地区の公民館：5名



有田地区 (H21.9.5 福祉座談会)

参加者：37名 登録者：30名 アンケート回答者：37名

出来ていること

- 1) 学校の指導もあり、小学生はあいさつがよくできている。
- 2) 老人サロンを開催することであいさつができている。
- 3) 中学生・高校生も一部であいさつができている
- 4) 会社内・近所・スーパーなどであいさつはできている。

出来ていないこと

- 1) 保育所の送迎時、お母さん同士の声かけが少ない
- 2) 道や畑にいる人に声をかけても返ってこないときがある
- 3) 昔のように親が子供に挨拶することの指導ができていないように思う。
- 4) 家族間のあいさつもできていないように思う
- 5) 集まる機会が少なくなってきたため、互いに声かけができない状況になってきている。



出来ること

- 1) 自分から積極的に挨拶する
- 2) 学校教育だけに頼らず家庭教育をしっかりと行う
- 3) 様々な行事を行ってコミュニケーションの場づくりを行う
- 4) 月別の目標を定め、町全体であいさつ運動を展開する。
- 5) 運動スローガンのTシャツ、バッチの普及を図る。

問1) 本日の座談会に出席してよかったと思いますか?

非常によかった：13名 よかった：19名 どちらともいえない：2名

問2) 今後も福祉座談会や地域での取り組みがあれば参加されますか?

参加する：12名 内容によって参加する：20名
どちらともいえない：5名

問3) 開催の日時及び開催の場所について
お伺いいたします?

平日：10名 土日：21名
午前：24名 午後：5名
午後7時以降：3名
保健福祉会館：22名
学校：2名 各地区の公民館：6名



田丸地区 (H21.9.20 福祉座談会)

参加者：36名 登録者：31名 アンケート回答者：27名

出来ていること・活かそうなこと

- 1) 小学生・中学生はあいさつができている。特にスポーツしている子。
- 2) 顔見知り同士はできている。相手に対して目的があればする。
- 3) サロンの立ち上げで交流の場が持てた。町の各サークルに参加し、人のつながりに努めている。楽しい。
- 4) 山で会えばみんなあいさつをする。美化活動からコミュニケーションがとれる事もある。
- 5) 女の人は人の顔をよく覚える。
- 6) あいさつ以外にもう一声かけるとさらにコミュニケーションがとれる。

出来ていないこと・むずかしいこと

- 1) 大人から子供への声かけが出来ていない。
- 2) 不審者対策。人を見てあいさつする。特に男性には。
- 3) 地域内の交流が少なくなり、顔なじみになる機会が減ってきた。仕事で近所の人との関わりが少ない。
- 4) 家族間のあいさつもできていない。親がしなければ子供もしない。
- 5) 中学生は照れくさくてあいさつがない。
- 6) メールがコミュニケーションの手段になっている。
- 7) あいさつはしなくても困らない
- 8) 組織の中でも出来ていない
- 9) 時間にゆとりがない。社会情勢の変化によりあいさつの様子も変わる。車での生活。
- 10) 声かけの仕方、言葉の選び方がむずかしい。



出来ること

- 1) 家庭でも学校でも大人が見本になる。子供は見ている。親が素直に行う。
- 2) 地域行事、イベントへの積極的な参加。顔見知りの輪を広げる。
- 3) 井戸端会議をしながら見守り。
- 4) ゴミ拾いでコミュニケーション。
- 5) 安心して利用できる集いの場の整備(公園など)
- 6) 自分からあいさつ。声かけをする。相手のいいところをほめる。
- 7) あいさつ週間などを決める(ゲーム的に)
- 8) 回覧、読みやすいもので目につくようにする。

問1) 本日の座談会に出席してよかったと思いますか?

非常によかった：11名 よかった：16名

問2) 今後も福祉座談会や地域での取り組みがあれば参加されますか?

参加する：12名 内容によって参加する：11名
どちらともいえない：4名

問3) 開催の日時及び開催の場所について
お伺いいたします?

平日：9名 土日：17名
午前：18名 午後：2名
午後7時以降：5名
保健福祉会館：24名



下外城田地区 (H21.9.13 福祉座談会)

参加者：18名 登録者：18名 アンケート回答者：18名

出来ていること

- 1) 家族間、近隣住民とのあいさつはできている。昔から自分からすすんでする人が多く、遠くても手を振ってくれる。
- 2) S53年ごろあいさつ運動があり、子供たちがあいさつすることが当たり前になった。小中学生は今もよくできている。
- 3) 同居世帯が多いため世代間のつながりはある。宮さんの行事などにも子供たちの参加がある。
- 4) あいさつは、地域の人に知ってもらうコミュニケーションのきっかけになる。

出来ていないこと・むずかしいこと

- 1) 高校生になると恥ずかしさがあり、あいさつが少なくなる。
- 2) 字を超えたあいさつはなかなか出来ていない。
- 3) 地区の行事も減る方向にあり、年代別で意見の違いがありまとまりにくい。
- 4) 社会的な環境の変化。高齢化、少子化、車社会など。時間の余裕もない。
- 5) 役場職員(町の見本)の接客業務意識が薄いためあいさつができていない事がある。



出来ること

- 1) 各種団体・企業・協働員など連携を取って取り組むことが大事
- 2) 家庭教育のなかであいさつの大切さを教える。
- 3) 組織活動を活性化させる。みんなで話し合いの場をつくる。子供からお年寄りまで参加しやすい行事内容。
- 4) 自分から進んであいさつをする。。
- 5) あいさつの標語・ポスターの募集。

問1) 本日の座談会に出席してよかったと思いますか?

非常によかった：11名 よかった：7名

問2) 今後も福祉座談会や地域での取り組みがあれば参加されますか?

参加する：9名 内容によって参加する：9名

問3) 開催の日時及び開催の場所について
お伺いいたします?

平日：5名 土日：12名
午前：12名 午後：13名
午後7時以降：1名
保健福祉会館：3名
学校：1名
各地区の公民館：2名



座談会を終えて...

皆さんの意見には、協働して行うこと又日常の意識の中から個人で出来ることなどが挙げられました。情報発信をしながら皆さんとともに取り組んでいきたいと考えています。
小さな一歩が大きな一歩に繋がるよう取り組んでいきましょう。



意識してあいさつして頂く方を「あいさつ人」としてご登録いただいております。

ご登録いただいた方には、「元気ですたまき」バッチ(200円)を購入して頂き、意識の表示をしていただきます。

バッチは何種類あります。是非ご登録ください。(バッチは夢工房たまきの製作になります。)